

富津市野球大会実施要項

富津市野球協会

富津市野球協会が主催する軟式野球大会の運営を適正化し、競技技術及びマナーの向上を図ることを目的とし、公認野球規則、競技者必携及びこの実施要項に基づき実施する。

- 1 試合は、トーナメント方式、7回戦又は1時間30分を超えて新しいイニングに進めないものとする。ただし、ブロック大会については、1時間40分とする。
- 2 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。決勝戦も同様とする。
- 3 雨天又は、日没によるコールドゲームは、5回戦で成立するものとする。
- 4 延長戦は行わず次の全軟連規定の特別延長戦を適用する。決勝戦も同様とする。
《特別延長戦》 前回の継続打者とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者はその前の打者とする。すなわち、無死1、2塁の状態にして1イニングを行い得点差により勝敗を決する。勝敗が決するまで継続して行いが、投手、野手、打者(代走を含む。)の交替は自由である。ただし、交替して一度ベンチに下がった選手の再出場は認めないものとする。
- 5 チームは、試合開始予定時刻の1時間前(第1試合は30分前)に球場に集合し、チーム名を役員に告げること。
※ 前試合の4回終了時にオーダー表3枚を提出すること。ただし、第1試合は30分前とし、試合のできる状態にあること。
- 6 試合開始予定時刻になってもプレーができる状態になっていない場合は棄権とみなす。選手が10名未満の場合も同様とする。ただし、4回までに達する見込みの場合は、この限りでない。
- 6の2 第2試合以降は、試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分を目安に次の試合を開始する。ただし、連続して試合をするチームがあるときは、40分を目安に開始する。
- 7 ベンチは、抽選番号の若いチームが1塁側とし、先攻とする。ただし、1日2試合(ダブルヘッダー)となる場合、2試合目の勝者はベンチの変更は行わない。
- 8 試合中にダッグアウト(ベンチ)に入れるのは、チーム代表者、スコアラー、登録された監督及びコーチ、選手及びマネージャーのみとする。
- 9 シートノックは、後攻のチームから行い5分以内とする。ノッカーは選手と同一の服装とする。ただし、天候、時間等により省略をお願いする場合もある。
- 10 球場内でのフリーバッティングは認めない。トスバッティングは相手チームのフィールドング中に限り、ファールテリトリーで行ってよい。
- 11 シートノック終了後、試合開始前に両チームでグラウンドの整備を行うこと。
- 12 プレーヤー及び審判に対する個人攻撃は厳禁とする。違反した場合審判又は控審判が注意をあたえる。再度注意をあたえても従わないときは退場させる。
- 13 抗議権は当該プレーヤー及び監督又は主将のうち1名のみとする。
- 14 ストライク、ボール、セーフ、アウト、ハーフスイング、フェアボール、ファウルボール等の判定に対する抗議は厳禁する。
- 15 2回目以降の投手の投球数は3球以内とする。ただし、初回及び交替した投手の投球数は6球以内とする。
- 16 打者がみだりにバッターボックスをはずした場合は、審判はタイムをかけずに投手の投球に対し正規のカウント「ボール・ストライク」を宣告する。
- 17 攻守交替は全て駆け足で実行すること。実行しないときは審判員が注意をあたえる。

18 タイムの制限

- (1) 試合中、スパイクの紐を意図的に結び直すためのタイムは認めない。
 - (2) タイムは1分以内とする。
- 19 試合中内野手間の転送球は、1回りとする。ただし、天候・時間等により中止する場合もある。
- 20 グラウンド内はもちろんのこと、ベンチ内での喫煙も厳禁とする。
- 21 選手は必要以外にグラウンドの外へ出てはならない。
- 22 試合終了後のグラウンド整備、ダッグアウト（ベンチ）内の整理、清掃、ごみの持帰りは各チームで責任をもって行うこと。

平成27年3月23日改正

平成31年3月28日改正（特別延長戦、ベンチ指定例外）